

腎臓センター 外科部門 (腎臓外科)

1. スタッフ (2009年4月1日現在)

科 長 (教授)	八木澤 隆
外来医長 (講師)	石川 暢夫
病棟医長 (講師 (兼任))	宮本 直志
医 員 (講師 (兼任))	佐久間康成 (消化器外科)
	(助教 (兼任)) 藤原 岳人 (消化器外科)
	(助教 (兼任)) 貫井 昭徳 (泌尿器科)
病院助教	木村 貴明
医 員 (講師 (非))	伊藤 文夫 (東京女子医科大学)
	(非常勤) 安土 正裕 (聖路加国際病院)
	(非常勤) 大川 浩 (利根川橋クリニック)

2. 診療科の特徴

- 腎臓センターの外科部門を担当している。
- 腎臓センターでは内科部門、外科部門の連携により、腎炎から透析、腎移植に到るまでの一貫した総合的な腎臓病治療を行っている。このようなセンターはわが国において稀少である。
- 腎移植、腎不全外科 (腎不全の診療に必要な外科治療や腎不全に伴う合併症の外科的治療、透析のためのバスキュラーアクセス造設や腎性副甲状腺機能亢進症に対する副甲状腺摘出術など)、透析治療に伴う後天性腎嚢胞や透析腎癌に対する外科治療、腎血管性高血圧、腎動脈狭窄、動脈瘤等の血管病変に対する腎血管外科手術などを診療の主な対象としている。
- 腎移植は生体腎移植、献腎移植に取り組んでいる。生体腎移植ではABO血液型不適合移植の他、SLEや糖尿病などを原疾患とする腎不全例など特殊例にも適応を拡げている。また透析導入前の移植も積極的に進めている。新免疫抑制薬や体外循環による血液浄化療法を駆使した治療等を移植前後に応用している。
- 低侵襲手技 (後腹膜腔鏡下手術) の開発に積極的に取り組み、腎尿路手術にこの手技を導入している。腎移植における生体ドナー腎摘出術にもこれを応用し、成果を挙げている。
- 腎臓センター発足後、約3年経過したが症例数は着実に増加しており、手術件数をみると腎不全外科関連ではバスキュラーアクセス作製を100~150件行っている。腎移植はここ数年、年間20例程度をルチンに施行し、国内でも有数の施設として発展しつつある。また外来治療を継続している腎移植患者数は約140名を超えている。外来ではその他の腎臓外科関連の紹介患者を数多く診療している。

る。

7) 診療は日本泌尿器科学会専門医、指導医、日本透析医学会専門医、指導医、日本腎臓学会専門医、指導医、日本内視鏡外科学会技術認定医 (泌尿器腹腔鏡、消化器一般外科腹腔鏡)、腎移植専門医 (日本臨床腎移植学会)、日本内分泌外科専門医によって行っている。

専門医、指導医

日本泌尿器科学会 専門医：

八木澤 隆、石川暢夫、安土正裕、貫井昭徳

日本泌尿器科学会 指導医：

八木澤 隆、石川暢夫、安土正裕、貫井昭徳

日本外科学会 専門医：

宮本直志、佐久間康成、藤原岳人

日本腎臓学会 専門医：八木澤 隆

日本腎臓学会 指導医：八木澤 隆

日本透析医学会 認定専門医：

八木澤 隆、石川暢夫

日本透析医学会 指導医：八木澤 隆、石川暢夫

日本内視鏡外科学会 技術認定医：

八木澤 隆 (泌尿器腹腔鏡)、

宮本直志 (消化器一般外科)

腎移植認定医 (日本臨床腎移植学会)：

八木澤隆、石川暢夫、宮本直志、佐久間康成

日本内分泌外科学会 専門医：八木澤 隆

American Urological Association (米国泌尿器科学会)

Member：八木澤 隆

European Association of Urology (欧州泌尿器科学会)

Member：八木澤 隆

Societe Internationale d'Urologie (国際泌尿器科学会)

Member：八木澤 隆

The Endourological Society (国際エンドウロロジー学会)

Member：八木澤 隆

American Society of Transplantation (米国移植学会)

Member：八木澤 隆

European Society for Organ Transplantation

(欧州臓器移植学会) Member：八木澤 隆

The Transplantation Society (国際移植学会)

Member：八木澤 隆

European Renal Association-European Dialysis

and Transplant Association (ERA-EDTA)

(欧州透析、移植学会) Member：八木澤 隆

3. 診療実績

1) 新来患者数、再来患者数、紹介率

新来患者数	70人
再来患者数	1,989人
紹介率	90.0%

3-1) 手術症例病名別件数

慢性腎不全、腎移植	19
生体腎移植ドナー	18
腎腫瘍	6
透析腎癌	6
腎嚢胞	1
腎性副甲状腺機能亢進症	29
原発性副甲状腺機能亢進症	1
慢性腎不全（透析導入、シャントトラブル等）	116
CAPDカテーテル関連	11
副腎腫瘍	2
腎機能障害（鏡視下腎生検）	5
腎移植後尿瘻	2
後腹膜腫瘍	1

3-2) 手術術式別件数、術後合併症件数

生体腎移植術	18
献腎（死体腎）移植術	1
鏡視下ドナー腎摘出術	18
鏡視下根治的腎摘除術	4
開放根治的腎摘除術	8
副甲状腺全摘除術および部分自家移植術	27
副甲状腺腫摘除術	1
副甲状腺再発過形成摘除術	2
鏡視下後腹膜腫瘍摘除術	1
開放副腎摘除術	1
鏡視下副腎摘除術	1
鏡視下腎嚢胞切除術	2
鏡視下腎生検	5
膀胱尿管新吻合術	1
内シャント造設術（人工血管移植術を含む）	116
CAPDカテーテル留置、抜去	11

8) 死亡症例

入院死亡例なし

9) カンファランス

*火曜日、木曜日：症例カンファランス

*火曜日、水曜日：移植関連（免疫抑制療法、移植腎病理等）のカンファランス、抄読会

4. その他、来年の目標

- 1) 腎臓センターの治療内容を透析施設、透析患者に対して広く情報提供し、県内外からの患者の増加を図る。増加する腎移植希望者に対応するため、スタッフ、専門医の増員と育成に取り組む。
- 2) 地域における腎不全治療レベルの向上のため、献腎移植の推進に取り組む。栃木県臓器移植推進協会、栃木県移植コーディネーターと協同し、献腎増加のための一層の活動と啓発を進める。
- 3) 腎移植外来の円滑な運営を図る。
- 4) 腎移植長期生着のための研究を進める。
- 5) 腎臓、上部尿路手術における低侵襲手技（鏡視下手術）のさらなる改良と開発。